

俺は怒ってるんじゃない…。いや、ちょっと怒っていると言ってもいいかもしれない。アルゼンチン人はタンゴの起源を完全に忘れてしまっているんだ。タンゴはスキーやサウナと同じようにフィンランドで生まれたものなんだ。



俺たちの音楽こそ、世界で唯一の本物のタンゴだ!

3人のアルゼンチン人タンゴミュージシャンが「フィンランド、タンゴ起源説」を確かめるべく、いざフィンランドへ!

タンゴはアルゼンチンで生まれたもので、彼らほどタンゴに情熱を注いでいる人々は存在しない。アルゼンチン人はもちろん、世界中の多くの人がそう思っている。しかし、アキ・カウリスマキをはじめとしたフィンランド人はその意見に異を唱えている。

ならば真実を確かめてやるとフィンランドへ旅立つ3人のミュージシャン。喧騒のブエノスアイレスを離れ、静かなフィンランドにやってきて旅をはじめ。延々と続く森と湖。一本道を車で走り抜け、湖畔で一休憩。集会場でゆったりリズムのタンゴを踊る人々と交流してみる。サウナも体験してみる。未知の世界に戸惑い、毒づきながらも、各地でご当地ミュージシャンとセッションを重ねながら、フィンランドに魅了されていく3人。

そして、彼らが最後に辿り着いた場所で開催される白夜のセッション、『マッチ工場の少女』などカウリスマキ映画に多くの音楽が使用されている、フィンランドの名タンゴ歌手レイヨ・タイバレとの共演はまさに夢の時間。



旅とタンゴを通して、出会うことがなかった人々が混じり合うどこか奇妙で愛すべき体験。各国映画祭で喝采を浴びた、タンゴと人への愛に満ち溢れた音楽ドキュメンタリーがはじまる。

美しい自然が広がるフィンランドを舞台に、2つの異なるモノが旅とタンゴという媒介によって混じり合っていく様は、時に知的好奇心を刺激し、時にユーモラスで心を和ませる。

旅をする3人と彼らの訪問を受ける人々は、それぞれの母国で高い評価を得ている名ミュージシャンたち。旅先で出会うタンゴを愛する市井の人々も含め、彼らの愛すべき生き方は各国の映画祭で観客を魅了した。



## STORY

ブエノスアイレスで活動している3人のアルゼンチン人タンゴミュージシャン、チーノ、ディビ、パブロ・グレコ。彼らはタンゴに人生を捧げている。タンゴはアルゼンチンで生まれたものだと思われていた3人は、フィンランドがタンゴ生誕の地であるという話を聞く。その説を容認できない3人は、事の真相を確かめようとフィンランドへ旅立つ。

ラテン気質の彼らは、フィンランドの森林や湖、そして輝くような白夜に遭遇し、未知の世界に来たことを実感する。そして彼らと対照的な、シャイで寡黙でどこかユーモラスなフィンランド人が奏でる、自分達とは違うタンゴに触れていき…。

## 白夜のタンゴ

<http://whitenights-tango.com>

監督：ヴィヴィアン・フルーメンシェイン 編集：オリ・ヴァイス  
出演：ワルテル・チーノ、ラボルテ、ディエゴ・ディビ、クイッコ、パブロ・グレコ、アキ・カウリスマキ、レイヨ・タイバレ、M.A.ヌンミナン、カリ・リンドクヴィスト、リク・ユエミ  
2013年/ドイツ・フィンランド・アルゼンチン/英語・フィンランド語・スペイン語/ヒスタ/カラー/83分  
原題：Mittsomnernachtstango  
配給：トレノバ 後援：フィンランド大使館 アルゼンチン大使館



主催：TAMA 映画フォーラム実行委員会

お問合せ（電話）：080-5450-7204（事務局直通）  
042-337-6661（永山公民館代表）

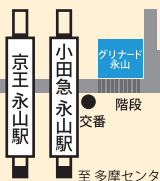
※上映当日は 070-5580-9071（会場）へ



Twitter で最新情報をフォロー  
@tamaeiga



Facebook ページに「いいね!」で参加  
<http://www.facebook.com/tamaeiga>



会場：多摩市立永山公民館  
ベルブ永山 5F  
(東京都多摩市永山 1-5)

ベルブホールは [京王相模原線・小田急多摩線]  
永山駅から徒歩 2 分

一緒に上映イベントをつくりませんか? TAMA映画フォーラム実行委員 (ボランティア) 募集中です。

詳しくは公式サイト (<http://www.tamaeiga.org>)  
などをチェックしてください!